

岡崎市のみなさまへ

まちづくりの政策提案集

岡崎市の若きリーダー

ひるた浩一郎

36歳

+1 をともにつくる岡崎市の未来

安心の
医療・福祉



安定の
稼げるまち



ゆとりある
子育て・教育



あきらめのこえや
あきらめの空気を

変える！

20年、30年先も豊かで選ばれ続けるまちへ

経済的な豊かさにプラスして、精神的・時間的な豊かさがあるまち
市外・県外の方にプラスして、将来世代の子どもたちにも選ばれ続けるまちへ

岡崎市役所の公務員として働きながら、プライベートでも岡崎市のまちづくりに関わってきました。現在は、内閣府から委嘱された立場や民間の立場から全国 400 以上の自治体のまちづくりや政策づくりに関わっています。全国各地の様々なまちと関わったからこそ私は自信を持って言えます。

岡崎市は「魅力、ポテンシャルが高い」と。

しかし、厳しい現実や声もあります……

「まちを支える 20 代、30 代の人口が減っている」「やりたいことはあるけど、時間や心の余裕がない」「支援制度がよくわからない」

だから今こそ、岡崎市の未来をともに創りたい。

市民の皆さまと市役所の溝を埋め、岡崎市の魅力を最大限に引き出し、「こんなことやりたいじゃんね」「こんな時間を過ごしたいじゃんね」と一人ひとりが声に出せ、当たり前の実現できるまちをつくる新しい若きリーダーを目指したい。そう決意しました。

このまま何もしなければ、将来的に岡崎市は緩やかに衰退していきます。岡崎市をもっと良いまちに、市民の皆さまがもっと幸せを感じられるまちにする。その方法はあるんです。

この 1 年、私は市民の皆さまとの対話を大事にし、政治活動を行ってきました。各地域でミニ対話集会を、街頭で、駅で、ネット上で… 1000 人以上の想いや声を聴かせていただき、岡崎市の未来を思い描いてきました。安心の医療・介護。ゆとりある子育て環境。そして、これからの教育の推進。

私は、岡崎市の皆さまとであれば、この理想を必ず実現できると信じています。

私が見て、ともにつくってきた日本中の成功事例を基にし、進めてまいります。

市長が変われば、市役所が変わる。
市役所が変われば、まちが変わる。
まちが変われば、未来が変わる。

過去か、未来か。あなたはどちらを選びますか。

この政策冊子には、皆さまの想いや声とともに私自身が考える「岡崎市の未来」と「今後、取り組むべき政策」を記しました。ぜひご覧ください。

岡崎市の未来をともにつくっていきましょう。どうか、あなたのお力をお貸しください。



私、ひるた浩一郎は3つの経験を通じ、全国の市長の右腕として
「日本全国のまちづくり・政策づくり」を実践してきました

岡崎市役所 公務員

2012-2018 商工労政課
2018-2020 資産税課

内閣府・国 民間企業

(株)官民連携事業研究所 役員
内閣府 企業版ふるさと納税
マッチング・アドバイザー
内閣府 地域活性化伝道師

地域活性化 まちづくり

ここやる
Code for AICHI
(一社)岡崎青年会議所

目次

メッセージ page 02

経済的な豊かさにプラスして、精神的・時間的な豊かさがあるまち
市外・県外の方にプラスして、将来世代の子どもたちにも選ばれ続けるまちへ

プロフィール page 06

岡崎市とひるた浩一郎、市役所・国・民間企業・まちづくりの豊富な経験

想い page 08

市役所、民間企業、NPO、市民等と連携・共創するまちづくり

提言 page 12

「未来への投資」で将来世代・現役世代・将来世代とにぎわいづくり、
身近な市役所づくり



ひるた浩一郎

晝田 浩一郎 / ひるた こういちろう

1987年11月生まれ (36歳) 材木町在住 青山学院大学卒業

- 2012年 岡崎市役所 入庁
 ・2012年 - 2018年 経済振興部 商工労政課
 企業誘致・新規事業創出支援・起業支援・商店街支援等
 ・2018年 - 2020年 財務部 資産税課
- 2016年 ここdeやる Zone (ここやる) 立ち上げ・代表
 プライベートで康生通商店街の空き店舗を借りる
 商店街活性化・まちづくり活動を開始
- 2017年 市民自らテクノロジーで社会課題を解決するシビックテック活動を開始
 「Code for AI CHI」を立ち上げる
 ウチビトもソトビトもみんなで作る乙川河川敷の活用
 乙川河川敷で音楽フェス「みらおと！」実施 (3年連続実施)
- 2019年 野外で雰囲気も楽しむシネマ上映の活動開始
 ※コロナ禍を乗り越え 2023年8月に野外シネマ上映を岡崎公園で開催
- 2020年 株式会社官民連携事業研究所に転職 (現 執行役員 CCO)
- 2021年 内閣府 企業版ふるさと納税マッチング・アドバイザー 委嘱
- 2023年 内閣府 地域活性化伝道師 委嘱
 ■全国のまちづくり・政策づくりを支援し、多数の善き前例を創出■
- その他 (一社)岡崎青年会議所等にも所属し、岡崎市のまちづくりにも引き続き参画

表彰・受賞歴

- ・岡崎市職員部課長会「頑張る職員 金賞」受賞
- ・Forbes JAPAN「日本を元気にする88人」選出
- ・HOLG「地方公務員が本当にすごい!と思う地方公務員アワード2017」受賞
- ・内閣府「地方創生政策アイデアコンテスト2018 優秀賞」受賞
- ・地域に飛び出す公務員を応援する首長連合「地域に飛び出す公務員アワード2018」受賞
- ・「マニフェスト大賞 コミュニケーション部門」最優秀賞

▼ここやる



▼地方創生イベント登壇

ストーリーテリングで心をつかむ

地方創生

10.17 Tue 16:00-17:30

赤松インターシティコンファレンス



▼野外映画上映



岡崎市とひるた浩一郎



私は、岡崎市役所の公務員として働くことを通して、岡崎市のまちづくりに関わり始めました。

最初は「公務員」としての関わり方だけでしたが、もっと岡崎市を良くしていきたいと考え、プライベートで康生通商店街の空き店舗を借り、仲間とともに、プライベートで「ここやる」を開始しました。

年間 200 回以上のイベントをする中で、世代を超え市民の方々が岡崎市を想う気持ちを強く感じました。

これこそが、私が組織や公私の垣根を超えて、まちづくり活動を始めた原点です。

公務員時代に、公私を超えたまちづくり活動を評価していただき、Forbes JAPAN「日本を元気にする 88 人」「内閣府地方創生政策アイデアコンテスト優秀賞」「飛び出す公務員アワード」等の名誉ある賞をたくさんいただきました。

賞を獲得したことにより、私が大好きな岡崎市が全国に知られる一助になれたことがなにより嬉しかったです。

現在は康生町だけではなく、市内各地域のまちづくり活動にも関わらせていただいております。多様な方々とまちづくり活動をしています。

音楽フェスみらおと！（乙川河川敷）



土呂八幡宮の清掃活動（福岡町）



矢作山車祭り（矢作町）



岩津城址の清掃活動（岩津町）



「市役所だけでは、『こまった』は解決できない」

岡崎市のまちづくりに取り組んだ経験とつながりを活かします



私が仲間とともにプライベートで、康生の空き店舗を借り年間 200 回以上まちの人たちの想いを小さくても実現してきました。引退した先輩世代、企業の方、商店主の方、大学生、高校生等の多様な方々とともに組織や肩書を超えたからこそできた取り組みです。



自分たち独りではできないことはたくさんあるけれど、市民の皆さんと一緒にあれば可能になる、そういうことを感じた瞬間でした。



公務員としても、いち市民としてもまちづくりに関わるなかで、市民の方のまちに対する愛情や想いに触れ、私も岡崎市のことがますます大好きになりました。

そして、魅力的な岡崎市を支えているのは、市民の皆さんの一人ひとりのチカラだと、確信しました。

だからこそ...

「こんなことやりたいじゃんね」
「こんな時間を過ごしたいじゃんね」
と声に出せる、当たり前を実現できるまちを目指しています。

【ここやるの活動実績】

※2016年1月10日～2019年12月31日の4年

- ・活動件数 : 762 回 / 4 年
- ・訪問延人数 : 8,600 人超
- ・市内循環金 : 750 万円超
- ・生まれた団体 : 4 件
- ・メディア掲載 : 31 回
(新聞、雑誌、ラジオ、テレビ)
- ・表彰 / 受賞等 : 7 回
- ・新規店舗オープン : 3 件

「市役所だけでは、『こまった』は解決できない」

全国のまちづくり・政策づくりの経験とつながりを活かします

人口減少、安心安全な介護・医療、子どもを育てる環境、免許を返納した後の移動手段、稼げ続けられる産業創出、子どもたちの学力向上、災害時の安全安心……

様々な社会課題、つまり「こまった」があります。これらは市役所だけで解決できるものではありません。民間企業等との連携・共創が必要不可欠です。

私は、日本全国で自治体と民間企業とをつなげ、新しい政策・新しい取り組みを生み出す支援をしてきました。

社会課題がますます複雑化する現在、自治体と民間企業、そして、NPO・市民団体や市民との協力体制が必要不可欠です。

「市役所がなんとかしてくれる」
「市役所がお金を配ってくれる」
こうした考えの方もいるかもしれませんが、これからの時代はそうはいかないのです。

市役所、民間企業、市民団体等のそれぞれの強みや特性を活かし、お互いに協力できる体制を整えていく必要があります。

「こまった」を「よかった!」に変える、それをみんなと一緒に実現していく。ちょっと先の当たり前の未来を一緒になってつくっていく。

全国には様々な良い事例・良い取り組みがたくさんあります。こうした取り組みをつくってきた経験、つながり、ノウハウを大好きな岡崎市に還元していきます。



ひるた浩一郎と 岡崎市の新しい未来を

岡崎市には魅力、可能性があります。
しかし、深刻な課題が山積みです。

岡崎市は魅力やポテンシャルを活かしき
れていない。「もったいない」状態なんです。

まちは、政治は、いまの私たちだけのもの
ではありません。10年、20年先の未来
の人たちに「あの時こういう判断をしてく
れてよかった！」と言ってもらえる責任が
今の私たちにはあります。

将来世代の子どもたちが海外・東京等に
就職・進学したとしても「またこの岡崎市
に戻ってきたい!」「ここで、次世代にバ
トンをつないでいきたい!」そう言っても
らえる責任が今の私たちにはあります。

まちを、未来をつくるのは、岡崎市民の
あなたです。

岡崎市の未来をつくっていける、
岡崎市をより良くしていけるのは
あなただけ なんです。

だからこそ、ひるた浩一郎は、未来をつ
くる世代として、あなたとともに岡崎市の
魅力・ポテンシャルを最大限発揮する新し
い若きリーダーとして、強いリーダーシッ
プと対話を重視し、大好きな岡崎市の新し
い未来をつくります。

あなたの想いや声を市政に活かし、+1
を生み出し続けるため、あなたの声を聴き
続けます。

晝田浩一郎



市内各地での対話の様子



「未来への投資」でお金と時間にゆとりをプラス！

結果、税金を上げ福祉等の行政支援をもっと充実！

医療

介護

福祉

防災
減災

移動
交通

道路
建物

未来への投資で
公共サービスが充実



ゆとりをつくって
さらに未来へ投資

子育て
支援

産業
支援

Digital
Transformation
DX

ひるた浩一郎 重点政策



将来世代

未来を描けるまち

- ・一人ひとりに合った「ちょうどの学び」の実現（学習支援アプリ活用等）
- ・ユニークな大人との交流を増やし、人生の視野を拡大
- ・フリースクールや民間と連携した不登校支援の拡充
- ・大学等奨学金返還支援制度の創設（岡崎市版）



現役世代

子育てしやすく稼げ続けられるまち

- ・給食費の無償化
- ・高校生まで医療費拡充
- ・病児保育お迎えサービスの実現
- ・学童保育（放課後児童クラブ）の充実
- ・PTA等の民間移行



先輩世代

健康寿命がのびるまち

- ・認知症やフレイルの早期発見と早期ケア促進
- ・自動運転やライドシェア等新しい交通手段の早期実現
- ・社会とつながれる居場所づくりの支援



産業支援

働きやすくにぎわうまち

- ・新産業、新規事業創出支援の充実
- ・リスクリング支援の充実
- ・岡崎市 DX の促進
- ・大学等奨学金返還支援制度の創設（岡崎市版）



行政運営

市役所がもっと簡単・身近なまち

- ・便利さを実感できる行政サービス（オンライン対応の充実等）
- ・「行かない市役所」「書かない窓口」の実現
- ・24時間、疑問に回答できる仕組みの導入（AI活用を想定）



自由な【将来世代】 未来を描けるまち

子どもの居場所を充実し、安心を **+1**
憧れのおとなと出会える、夢を **+1**
全天候型遊戯施設で遊ぶ、自由を **+1**



将来世代のあなたと一緒にするのは 「子どもが未来を描けるまち」です。

「将来何をしたいかわからない」「授業についていけない」「不登校で学習環境がない」
こんなあきらめの声や空気を変える！

現状認識・課題意識

- ・全員が平等均等に進める必要があるため、一人ひとりの学習進捗の差を考慮できない
- ・どんな大人がいるか、どんな仕事があるか、知らないし、想像できない
- ・年々増加している「不登校」に、親や先生もどのように対応して良いかわからない
- ・奨学金返済を考えると、やりたい仕事や目指したい夢を諦めてしまう

一人ひとりに合った「子どもの学び」の実現
学習の支援としてアプリやタブレットを活用

01

マニフェスト

ユニークな大人との交流を増やし、
人生の視野を拡大

02

マニフェスト

フリースクールや民間団体と連携した
不登校支援の拡充

03

マニフェスト

大学等奨学金返還支援制度の創設
(岡崎市版)

04

マニフェスト

将来世代といっしょにつくる「子どもが未来を描けるまち」岡崎市



**Q. 学校に通いたくありません。
どうしても学校に行かなければいけませんか。**



ひるた浩一郎

「学校に行かない選択肢」も「これからの教育」の一つだとおもいます。

それでも勉強ができる環境をととのえます。F組やフリースクールの選択ができ、不登校だったとしても勉強を進める体験型学習やアプリの利用などの方法から、将来の人生の選択肢が奪われない方法をつくっていきます！



**Q. 「将来、何をしたい？」と聞かれても答えられません。
将来が不安ですが、どうしたらいいですか。**



ひるた浩一郎

いま、世の中には様々な働き方があります。会社員をしながら、趣味を仕事にしている人もいます。杜若高校（豊田市）が実践している授業、「未来ダイアログ」のように、ユニークな大人との対話を通してこんな大人もいるんだ、こんな生き方もあるんだと知るきっかけをつくっていきます！



Q. 図書館がすぐいっぱいになってしまいます。もっと子どもだけで集まったり勉強できる場所がほしいです。



ひるた浩一郎

家じゃなくて外で勉強したい気持ちすごくわかります。私もそうでした。

図書館だけではなく、商店街や民間企業等の方にも協力していただきながら、一緒になって空き店舗の活用やオフィスの会議室等、まちや地域全体で集まれる場を充実していきます。



Q. おじいちゃんの介護が大変そうで、つらいです。もっと家族と一緒に笑ってみたいです。



ひるた浩一郎

大好きな家族といつまでも一緒に笑ってみたいですよね！

だからこそ、一人で悩まずに「こんなこと困っている」と誰かに話ができたり、専門家がお手伝いできる取り組みを充実していきます。こうした取り組みの情報を、一人ひとりにしっかりとお届けします。



豊かな【現役世代】
子育てしやすく、
稼ぎ続けられるまち

学校の給食費を無償化し、余裕を **+1**
学童保育施設を充実して、安心を **+1**
新規事業や雇用を創出し、稼ぎを **+1**



現役世代のあなたと一緒にするのは 「子育てしやすく、稼ぎ続けられるまち」です。

「子どもがもう一人ほしい。けど余裕がない」「まわりに頼れる親族がいなくて不安…」
こんなあきらめの声や空気を変える！

現状認識・課題意識

- ・ 経済的な負担や精神的、時間的な負担から子育てに対する負担が大きい
- ・ 近くに親族がない共働きで、安心して子どもを預けられる環境がない
- ・ もっとゆとりある子育てや自分の時間を確保したいが難しい

給食費の無償化

01

マニフェスト

高校生まで医療費拡充

02

マニフェスト

病児保育お迎えサービスの実現

03

マニフェスト

学童保育（放課後児童クラブ）の充実

04

マニフェスト

PTA等の民間移行

05

マニフェスト

現役世代といっしょにつくる「子育てしやすく、稼ぎ続けられるまち」岡崎市



Q. 若くして結婚し、子どももできました。世帯年収が低く生活が苦しいです。なんとかありませんか。



ひるた浩一郎

子育てにはどうしてもお金がかかりますし、金銭面だけでなく時間や体力も必要ですね。そのため、経済的支援と精神的・時間的な支援を充実させ、ゆとりある子育て環境を実現します。「給食費無償化」「子供の人数に合わせた減税」や「産後ケア」「病児保育の実現」等、安心して子どもを育てられる環境を整備します。



Q. 引っ越してきたため、近くに頼れる親族がいません。こまったことや知りたいことを相談できませんか。



ひるた浩一郎

岡崎市は年々、市外から転入されている方が増えています。だからこそ、相談できる窓口の充実や AI を活用し、スマホで簡単に支援情報を見つけられる仕組みを整えます。支援情報を探すためのスマホ時間を減らし、子どもと過ごせるゆとりのある時間を増やします。



Q. 南海トラフ巨大地震や大雨災害等の災害がこわいです。幼い子どももいます。岡崎市は大丈夫でしょうか。



ひるた浩一郎

「あかちゃんとそなえの輪」等、民間企業や市民団体と連携した災害時に配慮が必要な赤ちゃんや家族を守るための備えを促進していきます。

また、公共施設や備蓄品等においては、「いつも」と「もしも」をつなげるフェーズフリーといった仕組みを積極的に導入していきます。たとえば、**小学校・中学校のすべての体育館にエアコンを設置**します。「いつも」は子どもたちが安全に身体を動かせる、ママさんバレーをはじめ地域コミュニティの中心となる体育館を。「もしも」の時には避難所としてしっかりと機能する体育館を整備していきます。



Q. シングルマザーとなり、しっかりと子どものために働きたいです。これまでの経験やスキルでは不安がありますが、なんとかなりませんか。



ひるた浩一郎

稼げることはとても重要です。新しいスキルや技能を高めるために、国・県や民間企業と連携し「**リスキリング***」支援を充実します。働く上でこれから必要となるスキルを獲得できる支援を充実します。

※リスキリング：職業能力の再開発、再教育のこと。近年では、新たに必要となる業務・職種に順応できるよう、スキルや知識を再習得するという意味で使われることが増えています。



安心の【先輩世代】 健康寿命がのびるまち

交通手段を確保し、移動の自由を **+1**
病気や認知症等の予防で、健康を **+1**
孤独予防の居場所で、つながりを **+1**



先輩世代のあなたと一緒にするのは
「健康寿命が伸びる、いつまでも元気なまち」です。

「家族に迷惑をかけて申し訳ない」「引退し、免許も返納したら家にこもるしかない」
こんなあきらめの声や空気を変える！

現状認識・課題意識

- ・ 認知症やフレイル等の不安があるが
 どうしたらいいかわからない
- ・ 免許を返納しバスやタクシーも
 使い勝手が悪く出かけづらい
- ・ どこに出かけていいか、社会との
 つながりがなくなってしまった

認知症やフレイルの早期発見と早期ケア促進

01

マニフェスト

自動運転やライドシェア等の
新しい交通手段の早期実現

02

マニフェスト

社会とつながれる居場所づくりの支援

03

マニフェスト

先輩世代といっしょにつくる「健康寿命が伸びる、いつまでも元気なまち」岡崎市



**Q. 認知症になったらどうしよう…
家族に介護で負担をかけたくないんです。**



ひるた浩一郎

認知症やフレイル等の早期発見・早期ケアの取り組みを民間企業と連携・協力し、積極的に促進します。また、地域の訪問介護サービスや見守り支援を充実させるためにも介護士等のエッセンシャルワーカーのさらなる待遇改善に努めます。官民一体になった地域包括ケアシステムを確立します。



**Q. 将来的には免許の返納を考えています。
バスやタクシーを充実してもらえませんか。**



ひるた浩一郎

バスやタクシーの本数について「2024年問題」として、運転手不足が懸念されています。だからこそ、新しい移動・交通手段を積極的に導入していきます。自動車産業やIT企業の皆さまとともに、自動運転やライドシェアといった仕組みを早期に実現します。



Q. スマホは、若い人には便利かもしれませんが。
けど、私は苦手で置いていかれそうで不安です。



ひるた浩一郎

そうした不安、すごくわかります。ですが大丈夫です、ご安心ください。

例えば、スマホで手続きをする人たちが増えれば、市役所に来る人が減るため、窓口の待ち時間を減らすことができます。結果、一人ひとりの対応時間にもっとゆとりができます。

せっかくならば、使える道具を「+1」しませんか。

スマホ教室の充実等、苦手を克服できる岡崎市をつくりますので、お孫さんや仲間たちとより楽しめる未来を一緒につくっていきましょう。



Q. 高齢者で引退したからといって、助けられる対象と扱われるのはイヤです。私にも岡崎市のためになにかできることはないでしょうか。



ひるた浩一郎

岡崎市の未来づくりをぜひ一緒をお願いします！

「先輩世代の起業」や地域活動をはじめこれまでの経験や強みを活かし、一緒に取り組んでいただきたいです。人生 100 年時代を生きる上で「ありがとう」と言い合える、いつまでも活躍していただける岡崎市を一緒につくっていきましょう。



挑戦を応援【産業支援】
働きやすく
にぎわうまち

スタートアップと連携で新産業を **+1**

産業の創出で、売上・収入の柱を **+1**

リスキリング促進で、新スキルを **+1**

ずっと、豊かな岡崎市をつくる



売上をのばし、雇用を守る、挑戦を応援していく
「働きやすくにぎわうまち」です。

「電気自動車が普及し、仕事がなくなるかも…」
「もっと稼ぎたいけどスキルがない…」
こんなあきらめの声や空気を変える！

現状認識・課題意識

- ・自動車産業に依存し、新産業や新規事業を生み出せていない
- ・AIをはじめとする新しいスキルの学習方法がわからない
- ・力強い民間企業との掛け合わせができず、マッチングができない
- ・人材採用が難しく、人手が足りない

新産業、新規事業創出支援の充実

01

マニフェスト

リスキリング支援の充実

02

マニフェスト

岡崎市 DX の促進

03

マニフェスト

大学等奨学金返還支援制度の創設
(岡崎市版)

04

マニフェスト

ずっと、「働きやすくにぎわうまち」豊かな岡崎市をつくる

新産業・新規事業創出支援の充実

岡崎市は自動車産業を中心とした豊かなまちです。社会や経済が変化し続けていくなかでも、所得を、売上を、雇用を伸ばしていくためには、新しい産業を生み出し続けていく必要があります。

「モノづくりの強み × スタートアップ」や「観光資源 × スタートアップ」といった掛け合わせを通して新しい産業・新しいビジネスが生まれ続ける土壌を整えます。市内企業と日本中の、世界中のスタートアップ企業が連携・共創できる環境を促進します。

リスキリング支援の充実 / 岡崎市DXの促進

新しい産業に対応するためには、社員のスキル充実や生産性向上のためにデジタル革新が必要です。社員一人ひとりのリスキリングやDX（デジタル・トランスフォーメーション）を促進していきます。愛知県 STATION Ai や名古屋市の NAGOYA INNOVATOR'S GARAGE 等と連携し、実証実験や新しいことに挑戦しやすい、組織の壁を超えたオープンイノベーションを促進します。

大学等奨学金返還支援制度の創設（岡崎市版）

岡崎市の優秀な学生たちが、県外・市外の大学等に進学し、そのまま県外で就職することもあります。岡崎市内の企業に就職を促し、戻ってきやすい環境を整えていくためにも進学等の奨学金の返還を市役所と地元企業で支援する制度を創出します。



阿知和地区工業団地へのトップセールス※

阿知和地区工業団地の造成工事が進んでいます。造成完了が2027年3月末の予定です。トップセールスを行い、新たな産業を生み出すことができる力強い民間企業を誘致します。

また、住工混在でこまっている声もたくさん聴きます。市外からの企業誘致だけでなく、市内企業の企業留置と合わせ、岡崎市の新たな産業、雇用を生み出す土壌を整えます。

民間企業の役員としての経営の経験とつながりを活かします。

※トップセールス：地方自治体の代表等が、地方の産物・産業を積極的に売り込むこと

ふるさと納税（個人・企業版）の確保

岡崎市のふるさと納税の収支は「-12.8億円」です。約13億円ものお金が流出しています。個人のふるさと納税だけではなく「企業版ふるさと納税」の制度も活用を促し、岡崎市の収支バランスを改善します。

「内閣府 企業版ふるさと納税マッチング・アドバイザー」の経験とつながりを活かします。

太陽の城跡地を多世代の市民が集う拠点に

駅前の一等地は市民の皆様のものであります。だからこそ、岡崎市の未来をつくっていく拠点として多世代の市民が集い、子どもたちが自由に身体を動かせる全天候型遊戯施設をはじめ、イベントの実施、市民活動や吹奏楽 / 演劇等の文化的活動ができる場へ整備します。

ここやる等のまちづくり活動の経験とつながりを活かします。





やさしい【行政運営】
市役所がもっと
簡単・身近なまち

オンライン促進で、自由な時間を **+1**
DX・AI 活用を推進し、ゆとりを **+1**
相談窓口を充実し、やりたい！を **+1**

もっと、便利な岡崎市をつくる



自分に合う支援策が簡単にわかる 「市役所がもっと簡単、身近なまち」です。

「どこに相談していいかわからない…」「小さい子どもを抱えて市役所に行くのムリ…」
こんなあきらめの声や空気を変える！

現状認識・課題意識

- ・届出書類を出すためだけに市役所にわざわざ行かなければいけない
- ・幼い子どもを抱えて市役所に行く、窓口で並ぶことが難しい
- ・こまったことや知りたいことが調べても良くわからない。また、どこに相談していいかわからない。

便利さを実感できる行政サービス
(オンライン対応の充実等)

01

マニフェスト

「行かない市役所」「書かない窓口」の実現

02

マニフェスト

24時間、疑問に回答できる仕組みの導入
(AI活用を想定)

03

マニフェスト

もっと、便利な「市役所がもっと簡単、身近なまち」岡崎市をつくる

市役所を
もっと簡単
身近にして

貴重な時間を奪わない！

①

行かせない

- ・ 行政手続きのオンライン申請の拡大
- ・ リモート窓口の整備

②

書かせない

- ・ オンライン事前入力
- ・ マイナンバーカードの読み込みによる入力自動化
- ・ AIを活用した応答型入力システム

③

待たせない

- ・ 混雑状況のリアルタイム配信
- ・ 窓口のオンライン予約
- ・ キャッシュレス化、内部手続きのデジタル化などによる処理スピード向上

④

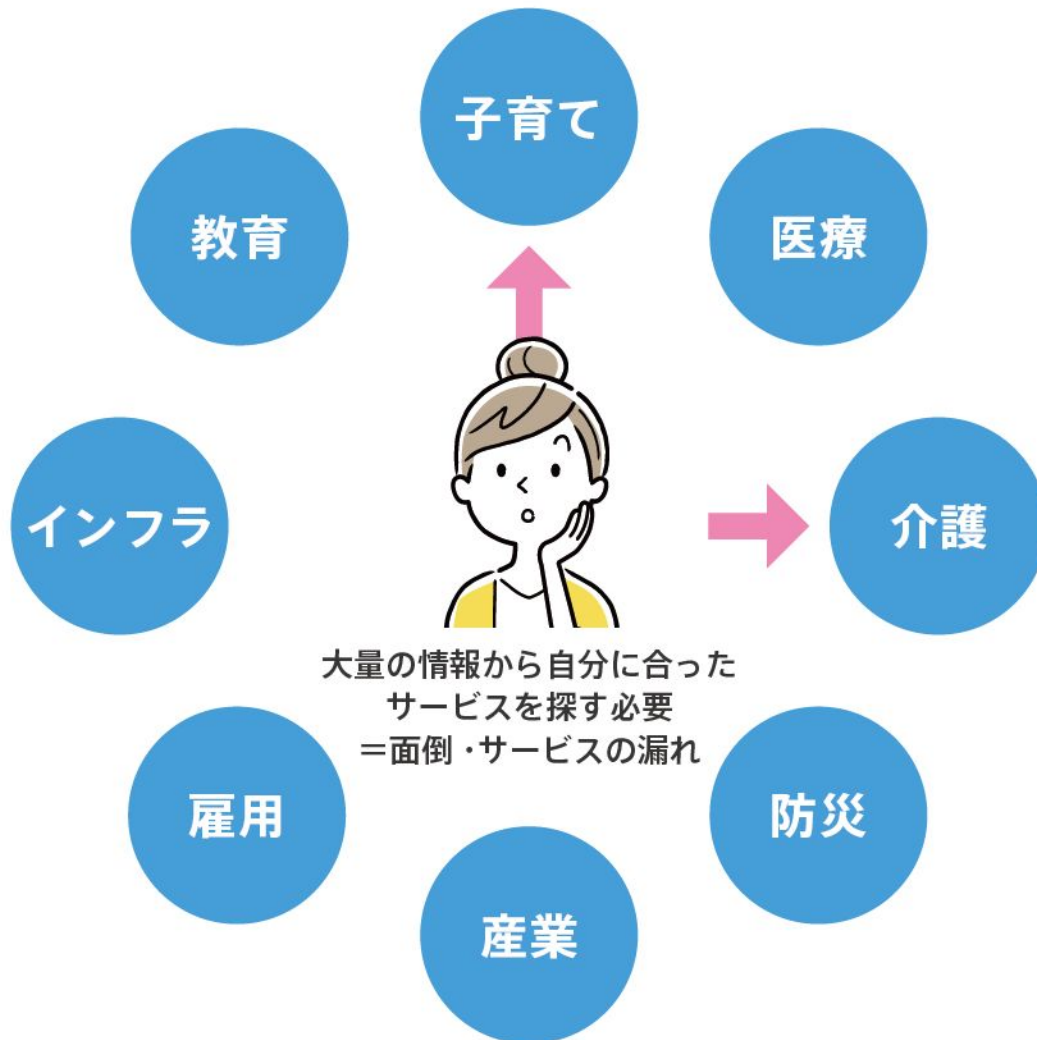
迷わせない

- ・ AIを活用した総合案内
- ・ 同時通訳化による外国人対応の充実
- ・ 窓口のワンストップ化
- ・ リアルタイム字幕表示等アクセシビリティ対応の充実

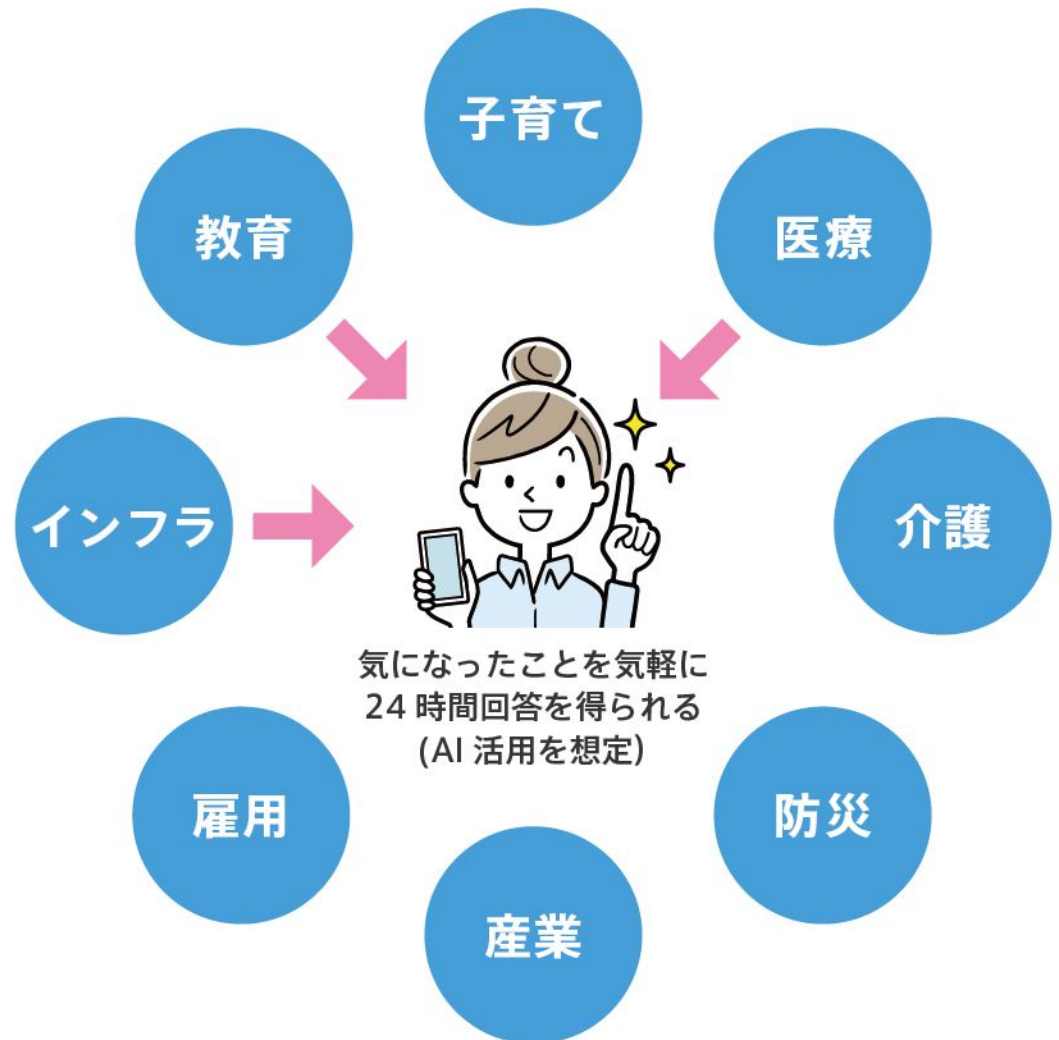
内部プロセスも含め、あらゆる行政手続きで徹底

ほしい情報を、いつでも、簡単・便利に！

これまでの行政サービスのつかいかた



今後はいつでも、簡単に、行政情報を取得！



新しい岡崎市の未来

東岡崎駅とJR 岡崎駅の一体化

現在、東岡崎駅とJR 岡崎駅が離れており、バスやタクシーでの移動が必要です。

「JRと名鉄が一体化していれば、もっと便利に生活できるのに」こんな声をたくさん聞いています。

線路を引き直すことは現実的ではありません。しかし、駅同士をつなげることはできるはずです。

例えば、ラスベガスのように地下道をつくる方法、横浜市のようにロープウェイを設置する方法、自動運転車を走らせる方法など……これからの新しい当たり前をつくるための方法や実現するための計画策定に取り組んでいきます。

大学の誘致

現在、岡崎市には4つの大学があります。多くの学生が市外・県外から岡崎市へ来て来てくれています。

こうした若い世代がもっと活躍できる、常に若い世代が岡崎市に関わり続けられる環境を整えていくことが必要です。

例えば、市外県外の大学のサテライトキャンパスといったあり方、また国際交流を促進するためにも海外大学の日本キャンパスをつくることもできるはずです。

どのような学部が良いのか、実現するための計画策定に取り組んでいきます。

上がった税収の1%を還元

現在、岡崎市の歳入は年間約1,500億円です。一世帯あたり約25万円の市税負担額です。

今後高齢化が進む上で、ますます社会負担は増加していきます。だからこそ、産業振興やふるさと納税の促進等により「稼ぐまち」を構築します。税収を10%上げることができれば、150億円増加し約1.5億円を市民の皆さんに還元していくことができます。「岡崎未来共創基金」のように市民活動やまちづくり活動を充実させる、もしくは一世帯に対して還付する等を実現するための計画策定に取り組んでいきます。

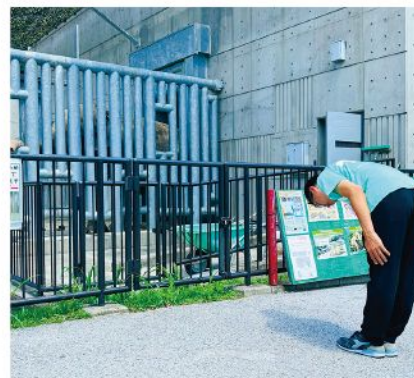
私は、時間がかかるかもしれませんが、新しい当たり前をつくるために市民のみなさんと一緒に+1を目指します。

無料でゾウに会える日本唯一のまち

日本全国の動物園にゾウがいますが、無料でゾウに会えるのは岡崎市 東公園のみです。56歳を迎えたゾウのふじ子は、多世代にわたり岡崎市民のアイドルであり、誇りです。将来世代の子どもたちに受け継いでいきたい岡崎市の魅力・ポテンシャルです。

2代目、ふじ子を

ふじ子は岡崎市のアイドルとして40年超、東公園で岡崎市民と交流してきました。しかし、ゾウの寿命は60~80年といわれています。いつか、ふじ子がいなくなったら…。子どもの頃から親しんできた岡崎市民にとって、ゾウがいることは当たり前になっているかもしれません。ゾウが当たり前にいるこの環境をもっと活かせるはずです。



だからこそ、2代目 ふじ子を考える必要があります。

子どもと過ごせる場の充実へ

「岡崎市には子どもと過ごせる場所が少ない…」

そんな声があります。だからこそ、新しく増やすだけでなく、南公園や東公園を充実させることで親子で過ごせる時間を、おじいちゃん、おばあちゃんも含めた多世代で過ごせる場所はとても貴重です。

「ふじ子のご飯を食べてくれた!!」と目を輝かせながら喜ぶ姿は、まさに成功体験であり、重要な原体験です。

ゾウが当たり前にいる、そして、子どもたちの成功体験を育む機会として、もっと活かせる取り組みをつくっていきます。



未来に向けて。

岡崎市を子育て・福祉・産業・まちづくりで 「日本全国のモデルになるまち」へ

ひるた浩一郎 政策 8 つの柱（概要版）

子育て・教育

子どもの未来をつくるまち

GIGAスクール促進 給食費無償化
手ぶら登園実現 「小1の壁」支援
「不登校」でも学べる場の支援
育児支援ヘルパー活用支援

安全安心 防災・防犯 インフラ整備

命と資産を守るまち

治水整備等の大雨対策・地震対策
老朽インフラ・危険家屋整備対策
SDGs推進 森林等環境保護促進

産業振興 観工商農

稼ぐまち

新規事業・新産業創出支援
リスキリング・就労・人材獲得支援
鳥獣害対策 遊休農地の再活用

健康ヘルスケア

健康寿命が伸びるまち

社会とのつながり創出
未病と予防の促進
オンライン診察/診療の促進



交通・移動

自由に、移動できるまち

渋滞緩和と移動効率化
ライドシェア等の新しい移動支援
ウォーカーブルシティの推進

高齢・福祉

孤独・孤立しないまち

認知症/フレイル対策・予防支援
居場所づくり支援
Wケア支援 相談窓口の充実化

コミュニティ

やりたい!が実現するまち

公共施設・公共空間の活用促進
仲間・居場所の創出支援
申請等の効率化

行政・DX デジタル変革

日本一前向きな市役所

行かなくて良い市役所
書かない窓口
脱・縦割行政 官民連携の促進

ひるた浩一郎 政策8つの柱 (150政策詳細版)

1.子どもの未来をつくるまち【子育て・教育】

1. 「子育て世帯」の住民税の減税(子3人:5%、2人:3%、1人:1%を目標)
2. 給食費の完全無償化
3. 子ども医療費助成拡大(18歳までの医療費助成)
4. 大学等奨学金返金支援制度の創設(岡崎市版)
5. 0~2歳の第二子の保育料を半額(最長児が卒園後でも)
6. 学童保育/放課後児童クラブの入居支援
7. 企業等からの「物品寄付」の受け入れを充実し、生活保護家庭等に対して配布等によるアウトリーチ支援強化
8. 急な発熱でも一時預かりをしてくれる「病児保育お迎えサービス」の実現
9. 迷った時になんでも相談できる窓口を充実。専門家や民間企業/団体とも連携し、NICU(新生児集中治療室)・ADHD(注意欠如・多動症)・不登校経験等の経験者に相談できる環境を整備
10. 子育てメンター/先輩ワーママのネットワーク構築支援し、ADHD(注意欠如・多動症)等の子ども向けサービス等、一人で悩まずに様々な取り組み方ややり方を相談できる場を創出支援
11. 学童保育/放課後児童クラブの合同説明会を開催。内容や強み等を一同に把握できる機会を創出
12. 夏休み等の長期休暇時でも、学童保育/放課後児童クラブ等の子どもを安心して預けられる環境整備
13. 子育て世代包括支援センター事業の充実で、母子保健と子育ての伴走型支援へ。小学生の利用も可能にして虐待防止、ネグレクト防止の徹底
14. 産後ケアを充実させ、産後うつ予防や妊娠前から子育て中のケアを充実。専門家や民間企業/団体と連携し、孤育てにならない環境を整備
15. 学校と保護者をつなぐ連絡アプリを導入し、朝の時間効率化
16. 不登校支援の充実で民間企業/団体と連携した相談窓口の充実
17. 子育て支援拠点充実に向け、民間企業/団体と連携して商店街空き店舗や企業オフィスを活用し、子どもやママ・パパが気軽に集える場所を増やす
18. 「いじめ窓口」を充実するために、岡崎市と教育委員会が一緒になって対応を進める「寝屋川モデル」の導入
19. こども家庭庁とともに、子どもアドボカシーに関する専門家登用人材育成の強化
20. 一人ひとりの学習状況に合わせた学習状況の充実。タブレット等を活用し、一人ひとりが基礎学力を高める教育環境、GIGAスクール促進。
21. 知識だけではなく様々な大人(職人・アスリート・起業家・エッセンシャルワーカー等)との交流を通して「こんな大人もいる」「こんな生き方もある」と子どもが知ることができる教育機会を充実
22. 子どもが落ち込んだり不安定になった時、感情コントロールをケアするアンガーマネジメント教育導入検討
23. 学校給食においてアレルギーを考慮しつつ、栄養管理を強化
24. 「オーガニックビレッジ宣言」を活かし、オーガニック給食の提供を増加
25. 「F組」の質の均衡化を図り、学校、教育相談センター、フリースクール等と連携したこどもの居場所づくり
26. 子どもたちの学校生活充実のために、保護者がPTAに関わりやすい体制づくりとPTA活動の負担軽減
27. 民間企業/団体と連携し、産後休暇や育児休暇の奨励促進
28. こども食堂支援ネットワークを支援、学習支援活動を後押し
29. 学校と保護者や地域の方々と一緒に、学校運営や子どもたちの学校生活充実に向けた運営に意見を反映させる仕組みを支援(コミュニティ・スクール)
30. 学校の先生にも親にも相談しづらい身体や性の悩みを専門家に相談できる「オンライン保健室」の創出
31. 生理の貧困対策として、学校や公共施設のトイレに生理用品の設置充実
32. 全天候型遊戯施設を拡充し、天気に関係なく親子で遊べる場づくり
33. 小学校、中学校のすべての体育館にエアコン導入。危険な真夏日において、安心して身体を動かせる環境整備
34. ヤングケアラーを防ぐために学校や地域と地域包括ケア等とも連携し、情報共有や支援を共有できる仕組みを拡充
35. ヤングケアラーの子どもたちに対して、専門的なトレーニングを受けた大人が寄り添える環境整備
36. 市の職員等が「緊急避妊薬」が必要な若者と一緒に医療機関に行く制度を創出

71. 地域コミュニティ支援を充実させ、隣近所に声かけできる関係を構築し、大規模災害時に助け合える環境を支援
72. 民間企業のBCP策定支援の充実
73. 国、県等と連携し水害時の垂直避難場所の確保
74. 先妻世代や障がいのある方の避難行動要支援者計画を拡充と周知徹底
75. 地域防災の担い手として民間企業/団体等と連携し、帰宅困難者等への対応力を向上
76. 災害時の通信手段としてコミュニティFMの活用やWi-Fi等による情報通信の確保
77. 特殊詐欺防止に向け、警察や金融機関等とともに地域各団体での連携強化
78. マンション防災対策マニュアルを策定、戸建てだけではなく増加しつつあるマンション住居者へ啓発促進
79. 大規模災害時における避難所においてプライバシーを確保するための空間や場所を民間企業/団体等と連携し、確保。ボランティアスタッフや救済活動の方々も気力を充実させられる環境整備。
80. 竹林整備や森林整備を徹底し、森林等の環境保護を促進
81. 老朽危険家屋や空き家に対する整備を徹底。相続時の問題等を相談できる窓口を充実し、老朽危険家屋を予防する。
82. 老朽危険家屋を取り壊す負担を減らすために「空き家除却事業費補助金」の枠を拡充
83. 危険な特定外来生物(セアカゴケグモ、ヒアリ等)への対処の周知徹底
84. 獣害被害対策として、専門家や民間企業/団体等に相談できる窓口を充実。

5.やりたい!が実現できるまち【地域コミュニティ】

85. 「岡崎市未来共創基金」を設立、ふるさと納税を原資にして岡崎市の未来につながる共創事業を金銭的支援
86. 太陽の城跡地を早期整備し、大規模イベントだけではなく各市民団体が活動しやすいスペースを創出。吹奏楽や太鼓演奏等の騒音問題から屋外イベントが難しい活動も支援
87. 公共施設や公共空間の利活用について、市民団体等が利用しやすくなるために手続きの簡易化と町内会等への周知体制の構築
88. 市民団体等が大型イベント等を実施する時に必要な物品のシェアリングエコノミーの実現
89. いつ、どこで、どんなイベントが行われているかの一覧を可視化できるサービスを導入し、市民一人ひとりが興味関心のあるイベントに参加できる仕組みを充実
90. 地域の伝統的なお祭り(山車・手筒花火等)の担い手を広く募集できる制度を民間企業/団体と連携し創出
91. 民間企業/団体とも連携し、商店街の空き店舗や利用しない時間帯の企業オフィス会議室等を市民団体等が利用できる制度を創出
92. クラウドファンディングを活用した社会課題解決型事業を支援
93. 市役所、民間企業、市民との「協働」「共創」を促進し、市民参加型のワークショップ開催
94. 町内会活動の情報発信等のデジタル化を進め、働いている世代も参加しやすく、必要な情報を見やすく、わかりやすく
95. まちづくりの担い手を育成するため、専門家や民間企業/団体と連携し、人づくりを推進
96. ペットは家族と同じ。終生飼育の啓発と環境整備、殺処分ゼロ、保護犬・保護猫の里親制度を充実
97. 市民活動団体等との対話会を開催。対話により、状況によりお互いの強みや特性を活かせる声を聴ける機会を充実。

6.稼ぐまち【産業振興(観工商農)】

98. 国や愛知県等と連携し、スタートアップと既存の民間企業等の共創促進支援
99. 新規事業や新ビジネスを生み出すための相談窓口の充実
100. 実証実験がしやすい環境をととのえ、民間企業の新規事業の部署やスタートアップ・ベンチャーとの連携共創の体制強化
101. 「Okazaki 共創 HUB」がしっかりと機能するように専門家や民間企業/団体と連携し、新産業創出に向けた土壌を整える
102. 岡崎市が抱える課題をわかりやすく提示し、全国各地の企業から提案を募集し、共創事業を実施。
103. 市内モノづくり企業とスタートアップ・ベンチャー企業がマッチングする機会の創出
104. 設備投資や工場や倉庫等の新設や増設時に、国や愛知県と連携し、補助金等の支援情報の提供
105. リスキリングにより新しい技術の習得支援。既存社員のレベルアップ支援や新規就労支援を図る
106. 定年退職後もそれまでのスキルや経験を活かし、働き続けられるシニア起業支援の充実
107. 跡継ぎ支援とM&A(企業の合併・買収)の支援
108. GX(Green Transformation)やカーボンゼロ活動の実施に向けた専門家や民間企業/団体等と連携し、相談できる窓口を充実
109. 豊かな自然を活かした「J-クレジット制度」による新たな稼ぎ方の導入検討

2.健康寿命が伸びるまち【健康・ヘルスケア】

37. 未病 / 予防の取り組みを民間企業 / 団体と連携し、一人ひとりに合致した取り組みを拡充
38. 一人ひとりにあった健康増進や健康ケアの取り組みを、専門家や民間企業 / 団体とも連携、医療 DX 促進
39. 生活習慣病の重症化を予防するため、重症化リスクを分析（見える化）
40. レセプトデータや検診データを有効活用できるように専門家や民間企業 / 団体から専門家アドバイザーを登用し、データ利活用の精度を高める
41. 国保受診勧奨を充実させ、ナッジ手法等を活用し各検診の受診率向上や普及活動を推進。特定健診受診率 60% を目標（現在 43.8%） 42. 歯科検診を促進し、オーラルフレイル対策を民間企業 / 団体と連携し充実
43. 重度心身障がい者の入所施設やグループホームの整備拡充を検討
44. e スポーツ大会の実施等、年齢や障がい等に関係なく多世代交流ができるスポーツの充実
45. オンライン診察の実現に向け、オンライン医療相談を専門家や民間企業 / 団体と連携し実現。いつでも、どこでも自分の身体や悩みを相談できる場を創出 46. バレーボールをはじめ、野球・サッカー・アーチェリー・ラリー等の様々なスポーツを身近に感じアスリートと交流できる機会の充実 47. スポーツを「する・みる・ささえる」ことで、生涯を通じて気軽にスポーツを楽しめる、またアスリートを応援できる環境整備
48. スポーツの全国大会や国際大会の誘致し、多くのアスリートやアスリート候補と交流できる機会の充実
49. バレーボール「ジェイテクト STINGS」のホームタウン化を活かし、連携を強化し、市民向けイベント強化や観戦促進策等で市民との距離を縮め、一流アスリートたちの本拠地であることの誇りを醸成する
50. 企業クラブが多数存在する立地優位性を活かし、市民と交流できる機会をさらに充実 51. アスリートのセカンドキャリアを支援する制度を民間企業 / 団体と連携し、アスリートとしての強みや特性を活かせる機会の充実
52. いつ / どこで / どんな試合があるかを簡単に把握できるシステムを整備、スポーツ観戦を楽しむ機会充実

3.孤独・孤立しないまち【高齢・福祉】

53. 「シルバー人材支援センター」「社会福祉協議会」等と連携強化し、先輩世代が活躍できる場の充実
54. 「今日でかけよう」と思える居場所やコミュニティへの参加支援
55. 認知症やフレイル対策として、見守りセンサー等のデジタルデバイスの普及啓発を促進し、早期発見と早期ケアを充実
56. 地域包括ケアをさらに機能させるために、専門家や民間企業 / 団体と連携し持続可能なケア体制づくり
57. エssenシャルワーカーの方々を取り組みなどを共有できる場を創出し、ノウハウや知識の共有化を図る
58. 障がいがあったとしても、得意を活かした A 型就労や B 型就労での働き方の幅を広げ、自分で稼げる取り組み支援
59. 医療介護福祉・健康・生活・終活などの支援をしている民間事業者が連携し、自治体とも協力しながら地域の方々の安心安全で健康的な暮らしをサポートできる取り組みを支援
60. 自治体だけでは解決できない専門的な悩みや不安を相談できる窓口を充実。専門家や民間企業 / 団体と連携し、早期ケアを受けられる体制を充実
61. 介護離職を防止するため、民間企業等とも連携し、介護支援制度等の仕組みや相談窓口があること社員に周知徹底
62. スマホを使えない方に向けたスマホ教室を充実させ、デジタルデバイドの解消
63. 公共施設等のトイレの洋式化を促進
64. 市民団体等と連携し、脳トレ等をはじめ楽しみながらコミュニケーションを図れるイベント / 取り組みを充実
65. バリアフリー、ユニバーサルデザインやユニバーサルフォントを積極的に導入し、誰ひとり取り残さないまちづくり促進

4.命と資産を守るまち【安全安心（防災・防犯・インフラ）】

66. 「いつも」と「もしも」をつなげるフェーズフリーの積極的導入。例：小中学校のすべての体育館にエアコン導入等
67. 今後建設を予定している公共施設等においてフェーズフリーの視点を導入、災害時に機能する設計を検討
68. 「あかちゃん防災」を徹底し、迅速に、かつ、安全に赤ちゃんとともに避難できる活動を啓蒙。民間企業 / 団体等と連携し、啓蒙パンフレットや広報誌を活用し、周知徹底。 69. 「防災士」資格の獲得支援 70. 避難所に赤ちゃん用のミルクやオムツ等をはじめ、防災グッズを充実。専門家や民間企業 / 団体等と連携し、本当に必要なものを設置。

110. 観光ガイドができる方を充実し、観光客に対する満足度を高める
111. 新しくホテルを誘致し、宿泊施設不足の解消を図る 113. 獣害被害や竹害被害の減少に向けた活動の支援
112. 八丁味噌をはじめ岡崎市伝統食材のブランド力および認知度向上のための展示会出展や新商品開発に向けた補助金の拡充
114. 遊休農地の再活用に向け、農業法人等の農業者とのマッチング支援
115. 「オーガニックビレッジ宣言」を活かし、有機無農薬栽培の支援 116. 乙川河川敷や岡崎公園の桜を植え替えられるように国や県等と交渉し、将来にわたって桜を観光資源として、市民の誇りとして維持
117. お城や神社仏閣等の文化財の見学だけではなく、お祭り、職人や技術等の体験型観光を充実

7.自由に、移動できるまち【交通・移動】

118. 自動車企業等と連携・共創し、「自動運転」「ライドシェア」「空飛ぶクルマ」等の新しい交通手段を積極的に導入
119. 市が所有する公用車を観光等のために貸出
120. 「(仮称) 三井アウトレットパーク岡崎」周辺の道路拡幅等の交通渋滞の緩和を図る
121. 「阿知和地区工業団地」周辺の道路拡幅等の交通渋滞の緩和を図る
122. QURUWA をはじめ、歩いて楽しいまちとしてウォークアブルシティの促進
123. 自動車を所有しなくても、移動に不便を感じない仕組みの充実
124. 買い物難民を発生させないために、移動販売やネットスーパー等の充実
125. 日常時からパーク＆ライドの導入検討（パーク＆ライドとは：マイカーを都市郊外の駐車場に駐車し（パーク）、鉄道やバス等の公共交通機関に乗り換え（ライド）目的地を目指す、交通混雑緩和のための取り組み）
126. 桜まつりや夏祭り等の大規模イベント時にパーク＆ライドやシャトルバスを積極的に導入し、会場周辺の渋滞の緩和
127. 交通不便地域において住民参加によるコミュニティバスやデマンド型交通をはじめ、タクシー事業者等と連携し、実情に応じた交通網の整備・拡充 128. 無電柱化を計画的に推進 129. 名鉄東岡崎駅と JR 岡崎駅の連絡アクセス向上を検討
130. 愛知環状鉄道 中岡崎駅と名鉄 岡崎公園前駅の連絡アクセス向上を検討

8.日本一前向きな市役所【行政DX（デジタル変革）】

131. 一人ひとりに合った支援情報を簡単に知ることができるサービスの導入 132. AI を積極的に活用し、人が本来すべき仕事に集中できる体制構築 133. 「行かなくて市役所」「書かない窓口」を実現し、届出等の提出のために市役所を訪問しなくても良くする。 134. 「脱・縦割り行政」として、横串がさせる「つなぐ課」の創出
135. 「市民にとってどうか」を判断基準として、前例踏襲主義ではなく「できない」を「どうやったらできるか」へ発想転換
136. 民間企業等から複業人材を積極的に登用し、専門知識だけではなくビジネス的な観点を行政運営に応用
137. 「リボルビングドア・出戻り制度」を創出し、いったん市役所を辞めた後でも戻ってこれる制度を創出
138. 公務員の複業を解禁し、市民活動や NPO 活動等に取り組むことで、まちの課題の明確化や新たなネットワークを構築
139. シティプロモーションに注力し、市内活動団体やイベント等の情報発信を専門家を登用し、広報 PR の人材育成を強化
140. SNS を活用し、Youtuber や Instagramer 等の動画編集の専門家とともに、岡崎市の魅力を伝え、シティプロモーションを促進 141. 官民連携 / 公民連携の窓口を充実させ、社会課題解決を自治体だけではなく民間企業等と一緒に取り組める体制を強化。「共創推進室」を創出。 142. 「5 つのレス」（ペーパーレス、はんこレス、FAX レス、キャッシュレス、タッチレス）等の庁内業務のデジタル化を促進し、業務改革を徹底。
143. 窓口デジタル化に伴い、デジタルに不慣れな先輩世代の高齢者等のサポートとしてデジタル支援員を配置
144. 「ふるさと納税」や「企業版ふるさと納税」の増額を目指し、外部団体の活用やトップセールスを充実し、稼ぐ自治体へ
145. 変革期に対応するため、市の職員に対してもリスクキリングやリカレントの充実へ
146. 国、全国の自治体や民間企業等が利用できるようにできる限りオープンデータ化する。
147. 自治体だけでは対応しきれない社会課題を、実証実験を活用し民間企業等が担える体制強化
148. 国、県等との連携強化を図り、全国の良い事例等を岡崎市版として活かせる情報収集とデータベース化
149. ハラスメント対策を充実し、職員の心理的負担の減少を図る 150. 市長と市民団体 / 市民が対話をする機会を充実

対話中心のまちづくり

これからも、市民の皆さまとの対話を軸とし、
「会えるリーダー」として以下の3つをお約束します。

対話集会の
定期開催

それぞれの地域の皆さまと
対話集会を定期開催します

「こまった」に
寄り添う姿勢

解決できる団体・人と連携・協力し
「こまった」を「よかった！」に変えます

やさしい
市役所

大切な価値や信念は変えず、
時代に、柔軟に対応します



応援のメッセージをいただいています



太刀川 英輔 氏

NOSIGNER 代表

WDO (世界デザイン機構) 理事

JIDA (公社)日本インダストリアルデザイン協会 理事長

市長に必要な資質はいろいろあります。行政での経験、市民への想い、未来への責任感、そして政策を生む創造性。ひるた浩一郎さんはお若い候補者かもしれません。しかし僕の知るひるた浩一郎さんは、その全てを備えた逸材です。

何よりも僕の知っている彼は、素直で誠実で明るく楽しい方です。そんな人がリーダーになるからこそ、街は明るくなるはず。そして彼は自己中心的に逃げ切れる年齢でもなければ、嘘をついて公約を守らない人でもありません。

ひるた浩一郎さん自身が、青年・中年・高齢者となる未来の岡崎市民として、その責任を持つ当事者なのです。

彼が岡崎市役所のスーパー公務員として務めてきた日々は、様々な政策を実現しやすくするだけでなく、国や他の地方自治体との連携が深まるでしょう。こうした追い風が集まり、大きな風となるはず。

僕はひるた浩一郎さんが立ち上がることが、岡崎市にとってチャンスだと思います。

ぜひ皆さんの未来のための選択をしてください。



森山 泰行 氏

元 名古屋グランパスエイト

元 サッカー日本代表

JFA 公認 S 級コーチ

まちを盛り上げていくためには、様々な要素が必要です。FC 岐阜が Jリーグに昇格するためにも、私たちサッカー選手だけではなく、地元の自治体や市民のみなさんの力が必要でした。

これはなにもスポーツに限ったことではありません。これからのまちづくりや岡崎市の未来をつくっていくために、多くの人の協力を得ながら進めていくことが必要です。

ひるた浩一郎さんはまだ若いと感じる方もいるかもしれません。しかし、それでも、彼がこれまで多くの方々と実現してきたこと、そして、これから実現していく未来はきっと明るいものだとおもいます。

私も岡崎市に約3年住んでいました、大好きなまちの一つです。新しい若きリーダーとなることは並大抵のことではありません。

岡崎市の未来のため、日本の未来のためには、これからを支える世代が立ち上がってくれたことに私は敬意とエールを送りたいです。

過去か、未来か。

あなたはどちらを選びますか
一緒に未来をつくりませんか



20年、30年先も豊かで
選ばれ続けるまちへ

晝田 経一郎

+1をともにつくる岡崎市の未来

安心の
医療・福祉



安定の
稼げるまち



ゆとりある
子育て・教育



日々の活動は各種 SNS で発信中！



ひるた浩一郎

検索

ひるたへ直接メッセージが送れます！



LINE オープンチャット
匿名・ニックネームでの参加が可能
メッセージが送れます！



本冊子へのご意見・ご感想がありましたら、ぜひお寄せください

ひるた浩一郎 後援会事務所

〒444-2115 愛知県岡崎市百々町七社 14

☎ : 080-2644-3304 ✉ : info@hiruta516.com